

## 西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体				
西区こどもチャレンジフェスタ		西区自治連合協議会「にぎわい・文化のまちづくり」部、堺市西区				
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4	R5	
次の世代を担う子どもたちの主体性を育て、生きる力を育む機会として、普段の生活ではできない体験に挑戦してもらおうことで、新たな発見をし、学ぶ楽しさを味わってもらおうことを目的とする	西文化会館を会場に、複数の講座を参加者が事前に選択して申し込んだ上で受講できるよう実施する。参加対象は西区在住の小学生とその保護者とする。プログラムは西文化会館内の各会場で4種類を準備し、同日に開催する。	① 申込件数(申込者数)	139件(339人) ※動画形式で開催(西区サイエンスフェスティバル)	107件(282人)	129件(334人)	
		② 参加者アンケート満足度(大変よかった・よかったの割合)	① ビタミンC86% ② マヨネーズ88% ③ 豆腐86% ④ 冷たい世界93%	① 化粧品100% ② 味覚テスト86% ③ 防災VR 82% ④ 冷たい世界100%	① 化粧品93% ② でんぶん92% ③ LEGO100% ④ 冷たい世界93%	
① 妥当性	② 協働の視点	③ インパクト	④ 効率性			
○	子どもたちに科学や食育・プログラミングなどについて学習・体験してもらおう機会の創出につながるものであり、妥当である。	○	化粧品作りやプログラミング体験など、普段はできない貴重な体験を親子一緒に取り組める機会を提供することができた。	○	講座内容の企画や当日運営を民間企業に任せることで、大幅なコストカットを実現しつつ、魅力的なコンテンツを提供できた。また電子アンケートに変更することにより、ペーパーレスや集計の効率化に繋がった。	
⑤ 自立発展性	総合評価					
△	参加者からの満足度は高かったが、予算や会場の確保、関係団体との調整など、区民が自立して取り組むことが困難な部分も多く、今後も区民と行政が協働して実施していくことが望ましい。	○	昨年度に続き対面形式は2度目の開催となり、申込者数は増加した。化粧品作りやプログラミング体験、液体窒素を用いた実験観察など、普段の生活ではできない体験を味わえたことが参加者からの高評価につながった。特に、今回から実施したプログラミング体験が人気を集めるなど、申込者数が増加した反面、落選者が多く出たという課題もあったため、次回に活かしたい。			
所見						
拡充 継続 見直し 廃止	今年度は、昨年度に引き続き対面形式で開催した。子どもが参加できるイベントのニーズは高く、リピーターも含む120組を超える応募があった。特に、今回から実施したプログラミング体験が人気を集めるなど、申込者数が増加したため、応募者の3分の2程度が落選となった。アンケートでは「子どもが興味津々だった」「子どもがとても楽しんでいた」等の好意的な意見が多く、参加体験型事業の良さを改めて確認できた。親子を対象とした当事業は全体としては満足度が高い事業であり、継続が望まれる。次年度以降は、官民の連携や開催方法の見直しも視野に入れつつ、体験できる人数を拡大するなど、より多くの区民に楽しんでもらえる事業となるよう検討していきたい。					